

令和元年度 近江町消費生活センターの相談状況について

1. 相談件数(割合)

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	対前年比
苦情相談	1,867 件 (87%)	1,860 件 (88%)	1,796 件 (91%)	99.6%
問い合わせ	287 件 (13%)	247 件 (12%)	172 件 (9%)	69.7%
合 計	2,154 件 (100%)	2,107 件 (100%)	1,968 件 (100%)	93.4%

2. 年代別相談件数(割合)

	20 歳 未満	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以上	不明	合計
相 談 件 数	47 件 (2%)	153 件 (8%)	161 件 (8%)	236 件 (12%)	258 件 (13%)	249 件 (13%)	440 件 (22%)	424 件 (22%)	1,968 件 (100%)

3. 商品・役務別相談件数(割合) ※ 上位 5 区分

区分	具体例	H30 年度	R 元年度	対前年比
1 商品一般	公的機関を装ったハガキ、覚えがない商品やサービスの架空請求 等	491 件 (23%)	328 件 (17%)	66.8%
2 放送・ コンテンツ等	有料サイトによる利用料の架空請求 等	269 件 (13%)	203 件 (10%)	75.5%
3 健康食品	健康食品の通信販売 等	68 件 (3%)	102 件 (5%)	150.0%
4 化粧品	化粧品の通信販売 等	54 件 (3%)	82 件 (4%)	151.9%
5 レンタル・リー ス・賃借	アパート敷金精算・原状回復 等	85 件 (4%)	81 件 (4%)	95.3%
その他	融資サービス、インターネット通信 サービス、役務サービス 等	1,140 件 (54%)	1,172 件 (60%)	102.8%
合 計		2,107 件 (100%)	1,968 件 (100%)	93.4%

4. 令和元年度の特徴

架空請求（商品一般、放送・コンテンツ等）

全体の件数は減少傾向にあるものの、公的機関を装ったハガキにより訴訟や裁判の取り下げ名目でだまし取る手口に関する架空請求の相談が相変わらず多い。

通信販売（健康食品・化粧品）

「初回は大幅値引き」との広告を見て1回限りのつもりで購入したが、実際は定期継続購入が条件であり、一定期間解約できないといった相談が急増している。